

日本アクチュアリー会資格試験

合格体験記

2021/3/8 特別号

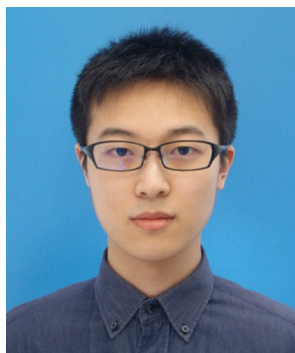
発行: 早稲田大学大学院会計研究科

発行人: 秋葉 賢一

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

E-mail: accounting@list.waseda.jp

URL: <http://www.waseda.jp/fcom/gsa/>



アクチュアリー
専門コース1年
富樫 充

受験勉強と会計研の講義について

アクチュアリー科目の講義は、前期に理論的な部分を一通り学び、秋タームで演習を行うという形です。前期は、独学では難しい、体系的な学習ができます。後期は、アクチュアリー試験に向けた演習となるので自身の弱点を補完できます。在学して感じたのは、前期の授業前に一定程度教科書を読んでおくことで、より理解が進むということです。また、夏休み中に過去問等を解いておくことで、演習での得点の伸び率が上がり、本番の試験の合格につながりました。

自身の勉強のやり方や進度で、試験に合格できるか不安になりますが、講義はそのような不安を消すのに十分でした。また、独学だけではカバーできない部分を補え、合格点の取得に結び付いたと考えます。

会計研の先生方・同級生の存在

先生方の存在は、独学とは違い、質問できるという面で非常にありがたい面でした。自分では何度考えても理解できなかった部分が、教えてもらったらスムーズに分かるという経験が何度もありました。先生方も質問に対して親身になって答えてくださいます。教科書や過去問からは読み取りにくい、解答にたどり着くための考え方がわかりました。

同級生は、科目合格をいっしょに目指す仲間というありがたい存在です。人によって、問題に対する解き方が違って、色々な考え方を知ることができるのが楽しいです。また、科目合格している人には質問できるだけではなく、試験に対する実践的な経験談も聞いたことは非常に助けになりました。

アクチュアリー
専門コース2年
山口 貴大

受験勉強と会計研の講義について

どちらも共通部分を持ちつつ、良い意味で違う部分もあります。会計研の講義には、アクチュアリー試験対策に特化した講義と、実務に密接に関連する講義があると感じました。1年生時には前者を、2年生時では後者の講義を中心に履修しました。これは、1年生時には就活に備えてより多くのアクチュアリー試験の科目を取得した方が良くと考え、2年生時では、社会人になることに備えて、実務家として必要な知識を習得した方がよいと考えたからです。資格試験に特化した授業では、教科書をベースに教えていただき、質問しやすい環境が整っていて受験勉強に役立ちました。しかし、講義のみでは問題演習量は足りないと感じたので空いた時間で過去問演習をしました。

会計研の先生方・同級生の存在

会計研は、様々な人と出会え、学問もビジネスも学べる場所です。会計研には多様な学生が在籍しています。会計士を目指す人、飛び級入学の人、社会人、留学生などです。ゼミ形式の授業を通して彼らと議論する難しさを経験でき、勉強になりました。また、第一線で活躍されている沢山の実務家のお話を伺うことができるのも貴重な機会でした。さらに、任意で修士論文を執筆でき、アクチュアリーコースに在籍しながら公認会計士の短答式試験免除を取得可能です。このような有意義な経験ができる会計研への皆様の入学を心よりお待ちしております。新設されて間もないですが、会計研が、アクチュアリーに登竜門と呼ばれるために共に取り組みませんか？

